

災害対策訓練 三郷中央総合病院

私は9月24、25日と2日間、埼玉地域DMAT養成研修に参加し、災害発生時における初動対応と医療調整の実際について学びました。特に現場情報の収集と本部との連携、各医療機関の機能を踏まえた搬送先調整など、平時とは異なる広域的視点が求められることを強く実感しました。

また、当院では“災害連携病院”としての役割強化を見据え、10月25日に本部設置訓練およびトリアージェリア立ち上げ、さらに全職員を対象とした安否確認訓練を実施しました。

訓練では、通信手段の選択や情報の集約方法、優先順位付け、物の保管場所などに課題が明確となり、今後の改善に向けて具体的な検討を進めています。地域DMAT研修と院内訓練を通じ、災害時に地域を支える医療拠点としての責任を改めて認識し、引き続き体制整備と教育の継続が重要であると感じました。

地域に安心できる医療を届けられるよう、引き続き尽力してまいります。

三郷中央総合病院 木村 勇人 日本工学院専門学校出身

